

令和5年度新たな時代の人づくり協働推進事業補助金交付申請書

提出日を記入→ 令和6年4月1日

山口県知事 様

所在地 〒●●●●-●●●●

●●市●町1-1

団体名 ●●市ワークショップイベント実行委員会

代表者職氏名 委員長 山口 太郎

このことについて、新たな時代の人づくり協働推進事業補助金交付要綱第7条の規定に基づき、下記により新たな時代の人づくり協働推進事業補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請します。

記

1 補助金申請額	300,000 円	
2 添付書類	(1) 団体概要書 (別紙1)	[○]
	(2) 事業計画書 (別紙2)	[○]
※ []に○を付けて揃っているかを確認してください。	(3) 事業収支予算書 (別紙3)	[○]
	(4) 組織の運営に関する規則等 (定款・規約・会則等)	[○]
	(5) その他 (パンフレット等)	[-]

◆他機関・団体補助金・助成金の申請状況 (予定も含む)

機関・団体名	なし
事業名・金額	なし

◆事務担当者連絡先

住所	〒●●●●-●●●● ●●市●●1-1 ●●町ワークショップイベント実行委員会事務局 (●●市青年会議所内)		
職氏名	役職 (主任) 氏名 (滝町 花子)		
TEL	08×-×××-××××	FAX	08×-×××-××××
メールアドレス	×××@××××.co.jp		

(別紙1)

団体概要書

ふりがな	●●しわーくしょっぷいべんと じっこういいんかい	ふりがな	やまぐち たろう
団体名	●●市ワークショップイベント実行 委員会	代表者職氏名	[役職：委員長] 山口 太郎
団体所在地	〒●●●●-●●●● ●●市●町1-1		
設立年月日	令和4年2月1日	会員数	10名
団体の目的 及び趣旨	子どもたちの創造力や表現力、地域への誇りと愛着を高めるため、多くの市民の参画のもと、これからの町の未来を担う子どもたちの興味・関心を刺激し、探究心を高める様々なモノづくり体験ワークショップを一堂に集めたイベントを開催するとともに、地域の資源を活かした魅力的なイベントを併催する。		
活動地域	●●市内		
役員名簿	役職名	氏名	備考
	委員長 委員 委員 委員	山口 太郎 山口 次郎 滝町 一 朝野 太陽	●●市青年会議所理事 ●●市役場政策企画課長 ●●市教育委員会教育政策課長 ●●高等学校教諭 ※参考となる他の所属団体や職名があれば記入

事業計画書

事業の名称	子ども向けモノづくり体験ワークショップイベント開催事業															
事業の目的	デジタルからアナログまで多様なモノづくり体験ワークショップを一堂に集めたイベントを開催することで、子どもたちの好奇心や探究心を刺激し、創造力や表現力の向上を図る。															
該当する推進方針の「取組の視点」	<p>「山口県新たな時代の人づくり推進方針」の「取組の視点」のうち、本事業が該当する視点の全てに○を記入してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組の視点</th> <th>該当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 生涯にわたる人づくりの基礎を培う</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(2) ふるさと山口への誇りと愛着を高める</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(3) 新たな価値を創造する力を育む</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>(4) 誰にも等しくチャレンジの機会を創る</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(5) 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(6) 新たな人づくりの推進体制を築く</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		取組の視点	該当	(1) 生涯にわたる人づくりの基礎を培う		(2) ふるさと山口への誇りと愛着を高める	○	(3) 新たな価値を創造する力を育む	○	(4) 誰にも等しくチャレンジの機会を創る		(5) 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える		(6) 新たな人づくりの推進体制を築く	
取組の視点	該当															
(1) 生涯にわたる人づくりの基礎を培う																
(2) ふるさと山口への誇りと愛着を高める	○															
(3) 新たな価値を創造する力を育む	○															
(4) 誰にも等しくチャレンジの機会を創る																
(5) 地域や時代のニーズに対応し、チャレンジのための環境を整える																
(6) 新たな人づくりの推進体制を築く																
事業を行う地域	●●市内															
連携予定の団体名（所在地）	<p>※実行委員会形式など、申請者が連携体の場合は構成団体名等も記入</p> <p>①●●市青年会議所（●●市） ②●●高等学校（●●市） ③●●市役所政策企画課（●●市）、●●市教育委員会教育政策課（●●市） ④●●保育園（●●市）、●●幼稚園（●●市） ⑤●●●●（株）（××市）</p>															
事業内容・実施方法等	<p>1. デジタルからアナログまで、子どもたちの好奇心や探究心を刺激する多様なモノづくり体験ワークショップを一堂に集めたイベントを開催</p> <p>(1) 開催予定時期 令和5年8月頃 13時～17時</p> <p>(2) 出展ブース数 10ブース程度</p> <p>(3) 対象 市内の幼児・児童及び保護者</p> <p>(4) 参加費 無料</p> <p>※ イベント会場に隣接する河川沿いにおいて、18時から夕涼みイベントを併催</p>															

期待される成果

子どもの興味・関心に基づき、体験したいモノづくりに試行錯誤しながらチャレンジでき、創造力や表現力の向上に資する取組となると考えている。

また、子どもたちに学びの場を提供する大人たちにとっても、趣旨に賛同した同士とのネットワークを形成することができ、今後の継続的で発展的な取組の基礎を築けるものと考えている。

加えて、市の自然環境を活かしたイベントを併催するため、郷土への誇りと愛着の向上にも繋がるものと期待している。

自走に向けた計画

事業実施に向け協力企業の開拓を進めるとともに、興味を示す企業等には出展の依頼やプログラム実施時の参観などの形で関わってもらおうとともに、事業実施時の企業広告の掲載など、企業等のメリットをPRしていくことで、無償協力や寄付金・協賛金等の獲得を進めていく。

1年目は、事業内容や企業等のメリットを理解してもらうことに注力し、2年目には協賛企業を獲得、3年目は更に多くの無償協力や寄付金・協賛金を獲得し、自走を目指していく。

枠は適宜拡大して記入すること

事業計画書を記入する場合の注意事項

- この表には、申請年度の補助事業計画に関するもののみ記入すること
- 「事業の目的」欄には、子どもたちのどういった力を育みたいのかについても記入すること
- 「実施内容及び実施方法」欄には、目的を達成するために何をするのか、事業の具体的な内容をスケジュールとともに整理して、詳しく記入すること
- 「実施体制・参加人数」の欄には、事業をどのように実施していくか、団体内部での役割分担とともに、協力・協働・連携を予定している団体等の名称と連携等の内容について記入すること（共催・後援等についても同様）
- 「期待される成果」欄には、事業を行うことでどのような成果が生まれるか、申請事業が若者育成等にどのようなつながるのかを記入すること
- 「自走に向けた計画」欄には、この事業を継続して実施していくために必要な資金の調達や人員の確保策などの計画について記入すること（3年目以降の自走に向けた計画を記入）

(別紙3)

事業収支予算書

(1) 収入

(単位：千円)

科目	予算額	内 訳
①当事業補助金	300	新たな時代の人づくり協働推進事業補助金申請額
②他機関・団体補助金等	0	
③寄付金・協賛金	0	
④自己負担金	50	
⑤参加料等収入	0	
⑥その他	0	
収入合計	350	

(2) 支出

(単位：千円)

科目	補助対象経費	
	予算額	内 訳
⑦謝 金	100	出展者謝金（材料費込）（10 団体×10 千円）
⑧旅 費	90	職員事業調整旅費（3 千円×10 回）、出展者旅費（10 団体×3 人×2 千円/人）
⑨消耗品費・ 原材料費	30	フェイスガード・消毒液等購入代 20 千円、ペン・用紙・封筒購入費 10 千円
⑩印刷費・ 広告宣伝費	30	ポスター・チラシ製作費（ポスター20 部、チラシ 500 部）
⑪通信運搬費	10	チラシ等郵送費 10 千円
⑫使用料・賃借料	20	会場使用料 20 千円
⑬委託費	0	
⑭保険料・手数料	20	イベント保険料 20 千円
⑮その他の経費	0	
(a) 補助対象経費計	300	
(b) 補助対象外経費計	50	出展者・運営スタッフ昼食代（50 人×1 千円）
(a+b) 支出合計	350	

事業収支予算書を記入する場合の注意事項

- この表には申請年度の補助事業に関するもののみ記入すること。また、他の事業との共通経費（事務所費、団体職員人件費など）を除き、事業実施に伴って必要となる全ての経費を記入すること
- 「①当事業補助金」（補助金申請額）は、「(2)支出」の「(a)補助対象経費計」から「(1)収入」の「⑤参加料等収入」を控除した額の範囲内かつ50万円を超えない金額を記入すること。※金額は千円単位とし千円未満は切捨
- 「②他機関・団体補助金等」の内訳欄には、山口県以外の交付元団体別に額を記入すること

- 「⑤参加料等収入」には、ワークショップの開催や研修プログラムの実施において参加者から徴収する料金や研修・ワークショップ等においてプログラムやパンフレットなどを販売する場合の売上金及び企業広告掲載料など、事業実施に伴う収入を記入すること
- 「内訳」欄には積算根拠（概算見積）を可能な限り具体的（個々の用途別の単価、員数、回数等）に記入すること
- 「(2)支出」の「(a)補助対象外経費計」欄には、事業実施に必要なが補助の対象とならない経費の合計金額を、また内訳欄にはその内容（講師昼食代など）を記入すること

◆補助対象とならない経費◆

役員・常勤職員等に係る人件費や謝金、会議費、講師等への手土産代や花束代、飲食費（講師やスタッフの昼食代、懇親会、打ち上げ等の全て）、団体の運営費（家賃、光熱水費、電話料等通常の団体運営経費）、他団体への助成金、補助金、寄付金、義援金

事業変更承認申請書

提出日を記入→ 令和5年9月1日

山口県知事 様

住 所 〒●●●●-●●●●
●●市●町1-1
団 体 名 ●●市ワークショップイベント
実行委員会
代表者職氏名 委員長 山口 太郎

令和5年5月31日付指令令5政策企画第●号により補助金交付決定の通知がありました事業を変更したいので、新たな時代の人づくり協働推進事業補助金交付要綱第8条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

申請事業の名称	子ども向けモノづくり体験ワークショップイベント開催事業
変更の理由	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、当初計画より、ワークショップの出展数を削減したため（10ブースを5ブースに変更）
関係書類 ※ []に○を付けて揃っているかを確認してください。	[○] 事業変更計画書（別紙1） [○] 事業変更収支予算書（別紙2） [] 参考資料

事務担当者 連絡先	住 所	〒●●●●-●●●● ●●市●●1-1 ●●市ワークショップイベント実行委員会事務局（●●町青年会議所内）		
	職氏名	役職（ 主任 ）氏名（ 滝町 花子 ）		
	TEL	08×-×××-××××	FAX	08×-×××-××××
	メールアドレス	×××@××××.co.jp		

(別紙1)

事業変更計画書

事業の名称	子ども向けモノづくり体験ワークショップイベント開催事業	
当初の事業計画		変更後の事業計画
出展ブース数：10ブース程度		出展ブース数：5ブース程度

* 当初の事業計画と事業変更後の事業計画を対比して記入してください。
変更後の事業計画の参考資料等がある場合には添付してください。

(別紙2)

事業変更収支予算書

(1) 収入

(単位：千円)

科 目	予算額		内 訳
	当初	変更後	
①当事業補助金	300	190	新たな時代の人づくり協働推進事業補助金申請額
②他機関・団体補助金等	0	0	
③寄付金・協賛金	0	0	
④自己負担金	50	30	
⑤参加料等収入	0	0	
⑥その他	0	0	
収入合計	350	220	

(2) 支出

(単位：千円)

科 目	補助対象経費		内 訳
	予算額		
	当初	変更後	
⑦謝 金	100	50	出展者謝金 (材料費込) (5団体×10千円)
⑧旅 費	90	45	職員事業調整旅費 (3千円×5回)、出展者旅費 (5団体×3人×2千円/人)
⑨消耗品費・ 原材料費	30	15	フェイスガード・消毒液等購入代 10千円、ペン・用紙・封筒購入費 5千円
⑩印刷費・ 広告宣伝費	30	30	ポスター・チラシ製作費 (ポスター20部、チラシ500部)
⑪通信運搬費	10	10	チラシ等郵送費 10千円
⑫使用料・賃借料	20	20	会場使用料 20千円
⑬委託費	0	0	
⑭保険料・手数料	20	20	イベント保険料 20千円
⑮その他の経費	0	0	
(a) 補助対象経費計	300	190	
(b) 補助対象外経費計	50	30	出展者・運営スタッフ昼食代 (30人×1千円)
(a+b) 支出合計	350	220	

事業変更収支予算書を記入する場合の注意事項

- 収入合計と支出合計の額は一致させること
- 「予算額」の「当初」欄には当初に交付申請した際に記載した額を、「変更」欄には変更申請する額を記入すること
- 「内訳欄」については、変更箇所の下線を付すこと
- その他の記載方法は、当初申請時の「事業収支予算書」と同じ

事業実績報告書

提出日を記入→ 令和5年9月16日

山口県知事 様

住 所 〒●●●●-●●●●●
●●市●町1-1
団 体 名 ●●市ワークショップイベント
実行委員会
代表者職氏名 委員長 委員長

令和5年5月31日付指令令5政策企画第●号により補助金交付決定の通知がありました事業を完了したので、新たな時代の人づくり協働推進事業補助金交付要綱第9条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

事業の名称	子ども向けモノづくり体験ワークショップイベント開催事業
補助金交付決定額	300,000 円
関係書類	<p>[<input type="checkbox"/>] 事業報告（別紙1） [<input type="checkbox"/>] 事業収支決算書（別紙2） 参考資料 [<input type="checkbox"/>] 補助事業に関する領収書・証拠書類 ※必ず原本とすること （参考様式①②③を参考に） [<input type="checkbox"/>] 事業の実施状況のわかる写真、新聞記事、パンフレット等 ※写真は県の広報に活用する場合がありますので、肖像権等に問題のないものを提供してください。</p>

事務担当者 連絡先	住 所	〒●●●●-●●●●● ●●市●町1-1 ●●市ワークショップイベント実行委員会事務局（●●市青年会議所内）		
	職氏名	役職（ 主任 ）氏名（ 滝町 花子 ）		
	TEL	08×-×××-××××	TEL	08×-×××-××××
	メールアドレス	×××@××××.co.jp		

事業報告

事業の名称	子ども向けモノづくり体験ワークショップイベント開催事業	
事業の目的	デジタルからアナログまで多様なモノづくり体験ワークショップを一堂に集めたイベントを開催することで、子どもたちの好奇心や探究心を刺激し、創造力や表現力の向上を図る。	
実施状況	実施期間	令和5年6月1日～令和5年8月31日 ◆主要なイベント等の日時 令和5年8月11日(金) 10:00～17:00
	実施場所 実施地域	●●市●●センター
	対象者	●●市内の幼児・児童及び保護者
	参加人数	◆参加者 150人 (うちスタッフ等50人)
	広報・周知の方法	ポスター・チラシの配付、市広報誌への掲載
事業の内容	※実施手法、スケジュール、活動目標をどこまで達成できたかも記入	
自走に向けた取組	※自走に向けた取組の現状と今後の予定を記入	

事業を行ったことで得られた成果	
問題点・課題及び今後の取組予定	

※「事業報告」は、県の広報に活用する予定ですので、あらかじめご了承ください。

事業報告を記入する場合の注意事項

- 「実施状況」の「実施期間」欄には、準備等も含めた事業を実施した期間と、主要な事業を実施した日時を記入すること
- 「実施状況」の「実施場所・実施地域」欄には、事業を行った場所や対象となった地域等を記入すること
- 「実施状況」の「広報・周知の方法」欄には、テレビ、新聞、会報、プレイガイド等主要な広報活動を記入すること
- 「事業の内容」の欄には、「目的」を達成するため何をしたのか、事業の具体的な内容を詳しく記入すること
また、どのようなスケジュールで行ったか、当初設定した活動目標をどれだけ達成できたかも併せて記入すること
- 「自走に向けた取組」の欄には、この事業を行うために必要な資金の調達や人員の確保策などについての現状や今後の予定について詳しく記入すること
- 「事業を行ったことで得られた成果」の欄には、この事業を行ったことでどのような成果が得られたのかを記入すること
- 「問題点・課題及び今後の取組予定」の欄には、この成果を次にどのように展開していくか、将来展望を詳しく記入すること
- 表は適宜拡大して使用すること

(別紙2)

事業収支決算書

(1) 収入

(単位：円)

科目	予算額	決算額	内 訳
①当事業補助金	,000		新たな時代の人づくり協働推進事業補助金
②他機関・団体補助金等	,000		
③寄付金・協賛金	,000		
④自己負担金	,000		
⑤参加料等収入	,000		
⑥その他	,000		
収入合計	,000		

(2) 支出

(単位：円)

科目	補助対象経費		
	予算額	決算額	内 訳
⑦謝 金	,000		別紙のとおり
⑧旅 費	,000		
⑨消耗品費・ 原材料費	,000		
⑩印刷費・ 広告宣伝費	,000		
⑪通信運搬費	,000		
⑫使用料・賃借料	,000		
⑬委託費	,000		
⑭保険料・手数料	,000		
⑮その他の経費	,000		
(a) 補助対象経費計	,000		
(b) 補助対象外経費計	,000		
(a+b) 支出合計	,000		

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

団 体 名

代表者職氏名

事業収支決算書を記入する場合の注意事項

- 収入合計と支出合計は一致させること
- 予算額及び決算額は円単位で記載すること
- 内訳欄に記入しきれない場合は別紙（様式任意）を作成し添付すること。ただし、「(2)支出-(a)補助対象経費計」の内訳は、支出日、支出内容、支出先が分かる資料を作成（参考様式①参照）の上、領収書などの証拠書類（参考様式②参照）と併せ提出すること
- 自家用車使用に係る旅費を計上する場合は、月日、発着場所、相手、目的、移動距離などを記載した資料等を作成（参考様式③参照）し提出すること。この場合の金額は、1日毎の移動距離（1km未滿の端数は四捨五入）に単価30円/kmを掛けて算出すること
- その他の記載方法は事業収支予算書の作成方法と同じ

山口県知事 様

(請求者)

所在地 〒●●●●-●●●●

●●市●町1-1

団体名 ●●市ワークショップイベント実行委員会

代表者職氏名 委員長 山口 太郎

補助金（概算払）請求書

令和6年●月●日付指令令6政策企画第●号により補助金交付決定の通知がありました補助金について、新たな時代の人づくり協働推進事業補助金交付要綱第11条の規定により、下記のとおり請求します。

記

1. 請求額 金 300,000 円也

概算払・精算払の別	精算払
交付決定額	300,000円
確定額	300,000円
既交付額	,000円
今回請求額	300,000円

←確定額は、「事業実績報告書」受領後、審査の上、別途、通知します。

2. 振込先

金融機関名	支店名	種目	口座番号 (右づめで記入)						
●●銀行	●●支店	①. 普通 2. 当座	×	×	×	×	×	×	×
(フリガナ)	●●しわーくしょっぷいべんとじっこういいんかいいんちょう やまぐちたろう								
口座名義	●●市ワークショップイベント実行委員会委員長 山口太郎								

(注) ①口座名義の欄には、補助事業者本人の氏名（法人の場合は法人名）を記入してください。

※ 振込み可能な金融機関に制限がある場合は、振込対象となる金融機関を注意書きで指定してください。